

# 大牟田市立歴木中学校

## 1 本校のESDの特徴

本校では、教育活動を通して、他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「福祉体験(SDGs3)」、「職場体験(SDGs8)」、「保育体験(SDGs4)」の交流体験及び進路学習から様々な課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学びを通して実生活や社会で生かされる思考力・判断力・表現力を身につけることを目指しています。

生徒たちは学習を進めていく中で「考え」たり「感じ」たりしたことから課題を見つけ、班目標、個人目標を設定し、実践につなげることがねらいです。また、生徒同士や地域に住む人たちとの思いや願いを共有し、「つながり」「かかわり」を大切にしながら、地域に対する誇りを持つことで新たな自分を発見し、地域に貢献できる資質や能力を育成することを目指しています。



## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画（1年生の例）

### <《福祉体験学習》SDGs3>

#### ○福祉体験学習オリエンテーション

- ・福祉体験学習に向けて、目的・内容・日程・心構えを学ぶ。
- ・絵本を読み、認知症についての理解を深める。

#### ○高齢者福祉について学ぼう

- ・講師を招き、介護に対する考え方や認知症について知る
- ・高齢者への接し方について学ぶ。

#### ○高齢者疑似体験学習

- ・高齢者の「こまり感」を体感し、高齢者の行動や気持ちを理解する。

#### ○福祉体験学習事前打ち合わせ

- ・グループごとに市内の介護福祉施設での打合せを行う。

#### ○福祉体験学習事前準備

- ・自分たちで取り組む課題を考える。(活動の内容、関わり方等)
- ・課題解決の取り組みを考える。
- ・準備(遊びや出し物の練習、模擬訓練)を進める。

#### ○福祉体験学習 2日間

- ・市内13カ所の介護福祉施設で体験学習を行う。

#### ○学習のまとめ

- ・学習した内容を個人で「新聞」形式でまとめ、発表する。
- ・三者面談のときやユネスコスクール週間で掲示し、全校生徒や保護者に見てもらう。

### 3 特徴的な活動事例



| 高齢者及び認知症についての正しい知識と理解を深める取り組み（1年生） |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標                                 | ○高齢者疑似体験や高齢者福祉講話学習を通して、相手の気持ちを考えようとする態度を養う。<br>○相手が支援を必要としていることを理解し、実践につなげる意思を持つ。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 実践                                 | ①疑似体験装具をつけ、高齢者の方々がどのような状態で過ごされているかを体験することで、相手の気持ちを考える力やコミュニケーション能力が必要であることを理解するようにした。<br>②「高齢者及び認知症」について考え、高齢者の方の様子や大牟田市の福祉の現状などの話を知り、自分にできることは何かを考えるようにした。                                                                                                                                                                                                                                          |
| 生徒の感想                              | ○福祉体験で高齢者の方とふれあって、気軽に話しかけてくださいました。初めはどのように接していいのかわからなかったけど、いつの間にか楽しく接することができていました。とても充実した体験学習になりました。<br>○福祉体験で学んだことは、高齢者の方と話すときには、大きな声ではっきりと耳元で、と言うことがコツだと分かりました。大きな声ということがなかなかできなかったけど、楽しく接することができて充実した2日間でした。<br>○私は福祉体験に行って、高齢者の方の暮らしなどを学ぶことができました。私の行った施設では、食事に工夫がしてありました。片手で食べる方にとって、器が動くと食べづらい。そのためシリコンの滑り止め付きの器が用意してありました。高齢者の方とのふれあいでは、話すときは大きな声ではきはきと話すことを学びました。高齢者の方にとってこのような施設は大切だと学びました。 |

### 4 本年度の成果と課題

#### ○成果

- ・核家族化が進み、普段高齢者と接する機会が少ない生徒たちにとって、貴重な体験となった。将来の進路を考えるときに役に立ったという生徒もいた。また、職員の方に指導していただき、労働の大変さや自分の親もこのようにがんばって収入を得ていることを考えさせられたようだ。
- ・この活動を通して、相手の立場に立って、考え行動することの大切さを知ることができた。

#### ○課題

- ・事前学習で、認知症についての理解を深める取り組みをしたが、実際施設に行ってみて、高齢者の方の状況に驚いている生徒もいた。高齢者の特性や認知症の症状など、事前学習の時間だけでなく、繰り返し理解を深める必要があるようだ。

